

高橋竹介 たかね 漢學者。天保十三年一月五日越後國南蒲原郡中之高  
 村生れ。明治四十一年十一月七日歿（八四二一九九）。諱二寅、字誠仲、  
 通稱竹之介。變名北山信、芳賀喜之七、別號蘇門。初め鈴木文臺いんに學  
 び、文久三年河野鐵砲てつぱうの門かどに入る。夙もとに尊王を唱へ、戊辰戦ごしんせんに從軍。明  
 治二年東京總都とんと公反對として翌年捕へられ、禁錮十年の處せられた。十  
 二年逢叔、十四年長岡公誠意統軍を擧ぐて奇英、二十年、及門生六百餘人  
 といふ。遺稿、贈竹顯未、華略を収めた。『拜恩餘光』（大正八年五月  
 二十五日新潟・武石貞松齋刊）がある。

